

科学する人

青色LED開発の赤崎勇さん

赤崎勇さんによる一連

の研究が引き金となり、

世界中の研究者が窒化物

研究へ参入。中村修二・

米カリフォルニア大サン

タバーバラ校教授も日亜

化学工業在籍中の91年、

違う方法で青色発光ダイ

オード(LED)を開発

し、この分野は勢いを増

した。実用化後、LED

は需要が拡大し続け、高

効率化やコスト低下を目

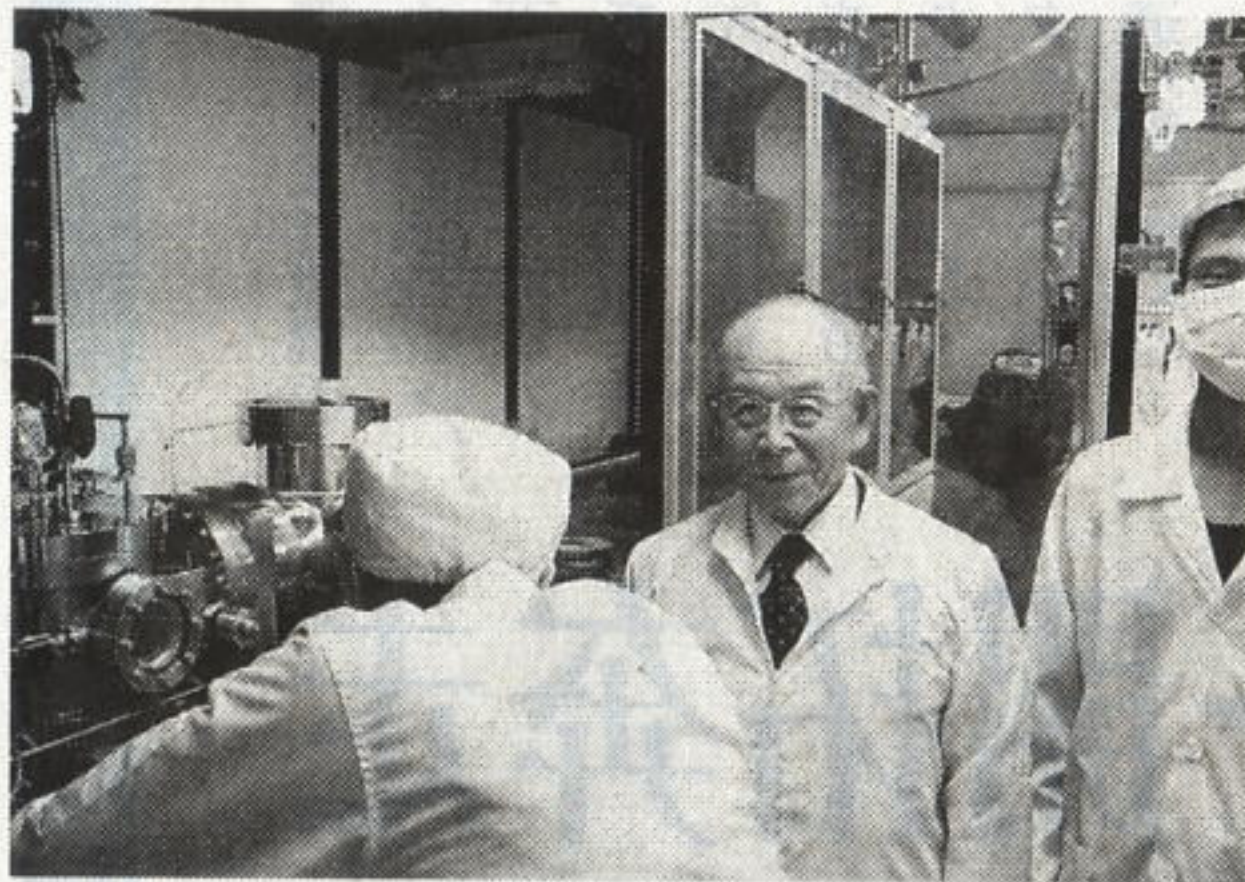
指してさらに研究が進め

られている。

赤崎さん自身も研究を

続ける。名城大の研究室

今も続ける研究



窒化物に大きな潜在力

「4」

では学生ら約40人を率い、三つの研究プロジェクトに携わる。「窒化ガリウム半導体はLEDでの利用以外にも、高熱や

なぜひた向きに研究するのか。「自分自身がやっていた昔の仕事が自信を与えてくれた。何年間も成果が出なくてもめげな

放射線に強^く、潜在力は大きい。高出力、超高速の次世代トランジスタなどを実現させた

「と意気込む。若い研究者には「新しいことやろうとすると失敗するが、恐れな

学生と実験する赤崎勇さん＝2011年(名城大提供)

しい。体験を積むことで勘が磨かれる」と声援を送る。

〓おわり〓